

議 事 録	
会 議 名	令和8年第2回昭和警察署協議会（定例会）
日時・場所	令和8年5月28日（木）午後2時から午後3時25分までの間 昭和警察署講堂
出席者	1 委員 9名（定数10名） 阿部 眞有美会長            石川 克彦副会長 篠原 隆志委員            鳴川 義雄委員 齋藤 佳帆委員            和田 智美委員 村瀬 やよい委員           井上 真委員 水野 雅彦委員
	2 警察署員 9名 稲垣署長                    長江副署長                    亀山警務課長 横山会計課長               野田生活安全課長            奥村地域課長 島刑事課長                大村交通課長                柴田警備課長
	3 有識者等 なし
1 署長挨拶 2 幹部挨拶 3 委員挨拶 4 報告内容 (1) 犯罪発生状況、交通事故情勢 (2) 前回の意見・要望に対する具体的な施策の推進状況 ア 前回の協議事項 警察官・警察職員採用活動の効果的な取り組み イ 前回の意見・要望 (ア) 警察官、警察職員の仕事や現状を魅力あるSNSの活用によって積極的に発信する (イ) 大学生、高校生に向けての体験イベントの積極的な実施 (ウ) 転職希望者に対する試験区分の見直し ウ 施策の推進状況 (ア) 昭和警察署管内で開催された各種イベントにおいて、警察官・警察職員の採用情報の発信 (イ) 警察官採用情報の二次元コードを記載したチラシの配布と掲示 (ウ) 署独自の採用情報ポスター等の作成	

(エ) 管内大学及び高校との関係性の構築

(オ) 管内大学におけるフリー座談会の開催（6月に実施予定）

5 協議事項

自転車利用者に対する交通事故防止対策

6 発言の要旨

- ・ 自転車の青切符が導入されてから、自転車の運転に悩む場面がある。最近では、自転車から降りて、自転車を押して歩行者として通行している。
- ・ 交通死亡事故ゼロの日に、交通立番だけでなく、自転車を対象とした広報の日とするのは、いかがでしょうか。
- ・ 特に、高校生や中学生に対しての、交通講話を積極的に実施してほしい。
- ・ 自転車の青切符により取締られた件数を、公表することはできないのか。
- ・ 人身事故の件数とその原因を、区民にわかりやすく公表することで、交通事故への注意喚起が出来て、事故自体を減少させることができるのではないのか。
- ・ 免許証を取得していない（道路標識の意味が分からない）高校生や中学生に対して、道路標識の教養を学校等に出向いて、交通講話を実施してほしい。
- ・ 学校等での交通講話だけでなく、小さい時から親が子供に交通事故防止の指導をすることも重要だと思う。
- ・ 令和8年4月の改正後、2か月が経過しているが、以前と比べて、どのようなことが変化したのか知りたい。
- ・ 歩行者、自転車、自動車の全てが交通事故への意識が高くなれば、大きな交通事故の発生は防げるのではないのか。
- ・ インターネット上の動画（運転時のヒヤリハット）を視聴するのも、事故防止に繋がると思う。
- ・ 自転車の違反常習者への、特別教養があっても良いのではないのか。
- ・ 自動車の駐車監視員のように、自転車の交通違反取締ボランティアも活動できるような取組ができないものか。

7 意見・要望

- (1) 学校教育の中での交通安全教育の導入
- (2) 指導取締りの強化
- (3) 自転車事故をなくすための日を設定
- (4) パトカーなどによる広報啓発活動の推進

8 署長挨拶

9 その他

次の開催予定は、令和8年8月ころ